

57 ヨハネ 17 章 21-26 節

※今日は、イエス様の祈りである 17 章の最後の部分となります。今日の箇所を簡潔に表現すると、24 節の最初の部分にある「父よ。わたしに下さったものについてお願いします」についての祈り、つまりイエスの切なる願いであり、主の御心が表されていると言えるでしょう。さてそれは何か一緒に学んでみましょう。

1、イエス様は何を父に願ったのでしょうか？

※このイエスの祈った事柄（願った事柄）が「主の御心」というものです。21 節を書き写し、あえて 3 つの願いをあげてみてください。

①

②

③

※「イエス・キリストを信じます」と告白する私たちは、さらに信仰を深め、この主の御心を私たちも願い、祈り、実現するために生きていきたいものですね。

2、22,23 節をイメージして学んでみましょう。

・皆さんも気づきだと思いますが、イエス様はしきりにクリスチャンたちが、神がそうであるように皆が一つとなるように願っておられます。ここに「三位一体」という言葉にも使われている「一つである」という真意が理解できるのではないのでしょうか？エホバの証人の方々は「父、子、聖霊がそれぞれ神であるなら、神が三人いることになる」と言いますが、そういう考え方は、やはり聖書の神髄からずれていると言わざるを得ません。三つで一つの神であるように、私たちも大勢のクリスチャンたちが一つになる…聖書の教えている一体性とはそこにあるのです。生まれも、育ちも、性別も、考え方もまったく違う人間が「イエス・キリスト」にあって一つとなる…ということなのです。

・ここに私たちが、神様がそうであるように一つとなるために、クリスチャンに与えているものがあると言われていました。何でしょうか？ (22)

(参考聖句) ヨハネ 13:34.35、I ペテロ 2:21-23 私たちもキリストにあってこのようである時、その信仰で…キリストにあって一つとなれるのではないのでしょうか？

3、またイエス様は一つのことを願っておられます。(24)

・イエス様の言われる「私がいるところ」とはどこだとあなたは言いますか？意見を出してください。

※そこに私達クリスチャンがいるなら、何を見ることが出来ると教えられていますか？

4、25 節には「理解の違い」「立っている土台の違い」について鋭く語られています。続きを記してください。

・「この世は」…

・「御子イエス様は」…

・「クリスチャンたちは」…

※ (26) 「御名を知らせる」「御名を現す」(明らかにする) ことと、クリスチャンたちの内に愛があること、そしてイエス様もクリスチャンたちの内にいることが一つのことであることを今一度心に刻み、それを追い求めていきましょう。

5、このところから神様 (父、子、聖霊) はどのようなお方でしょう。